

派遣健康保険組合、設立準備すすむ

財団法人・日本人材派遣協会が中心になって四月には「人材派遣健康保険組合」が設立される。

派遣労働者の場合、健康保険への加入は「正社員」の四分の三以上の労働時間で二ヶ月以上働く場合には加入が義務づけられるが、派遣期間が終了すれば無職となり、市町村の国民健康保険に加入することになる。

しかし、派遣会社は、派遣労働者を派遣した時は資格取得届、派遣期間が終了した時には資格喪失届などの事務手続きをしなければならぬ。一方、派遣労働者は、派遣期間終了後は自分で国保への加入手続きをしなければならぬなどの煩雑さもあって、国保にも健保にも入らない派遣労働者も多い。また、派遣元は保険料の事業主負担を嫌って健保加入を積極的に呼びかけない例もある。

労供労組協事務局は、人材派遣健康保険組合準備案を訪ね、日本人材派遣協会鮎野東副会長、設立準備案の毛利禮三事務局長らにその概要をお聞きした。(文責・事務局)

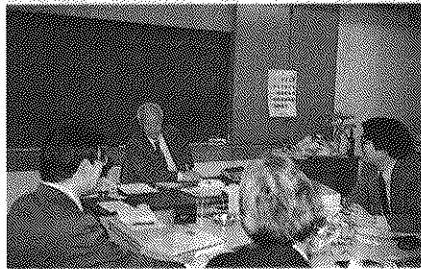
人材派遣協会は、昨年一月から派遣労働者の社会保険適用について厚生労働省と相談しながら研究してきたが、当面は健康

保険について検討することにし、派遣労働者三〜四万人の就業実態を調査し、健康保険組合を設立することにしたもの。

この健康保険組合は、総合健康保険組合で、加入予定の派遣会社は約一〇社、被保険者数は約八万人の規模になる。

設立の課題は、(1)一つの派遣元からの派遣期間が終了し、別の派遣元で次の派遣先が決まるまでの空白(無職)期間の扱いをどうするかだったという。

厚生労働省との話し合いで、(1)次の仕事を探している空白期間一ヶ月間は、任意継続被保険者扱いにし、引き続きその健保組合の被保険者とする。その間の保険料は事業主が負担することになる。ただし、負担する



保険料の額は国保並みとする(標準報酬八等級を予定)。(2)同じ派遣元で次の派遣先が決まるまでの一週間から一〇日の空白期間は、継続雇用とみなすというところで合意している。

設立時の保険料率は八%(一〇〇〇分の八〇)を予定しており、対象となる被保険者は若い人が多いので、健保財政は黒字となることが予想され、剰余金などは派遣労働者のために使っていくという。

健保組合の設立は、派遣会社

厚生労働省「しごと情報ネット」、情報提供の問題点

厚生労働省が運営する「しごと情報ネット」での情報提供について同サイトには、「しごと情報ネット」は、民間職業紹介事業者、民間求人情報提供事業者、経済団体、公共職業安定所等の保有する求人・求職情報から取り出されたインターネット情報を一

覧、検索できるようにし、システムとリンクしている各機関のホームページを閲覧する等の方法によって、詳しい求人情報にアクセスすることの出来るしくみ等です」と書かれています。実際に使ってみて本来の趣旨に沿わない以下の問題点があることがわかりました。

- 〔検索日時〕二〇〇二年一月一日、一四時
- 〔検索条件〕①就業形態：一般

の社会的アピールと保険料収入を増やしたい国にはメリットはあるが、はたして派遣労働者にメリットがあるのか(※)という声も聞かれました。

※(1)同じ派遣元における空白時の継続雇用の期間が短い(一週間から一〇日)。(2)派遣元が変わる場合は①通常(資格喪失後、再度加入)と何ら変わりが無い。(2)異なる健康保険になる(加入の一〇社以外の派遣元になる)可能性が大きい。

「しごと情報ネット」、情報提供の問題点

(正社員)②職種：技術系のしごと(IT関連)、③就業場所：東京都

(絞込み条件)①産業分類：サービス業・公務、②賃金：指定なし、③年収：五〇〇万円、④年齢条件：指定なし、⑤フリーワード入力なし

- 〔検索結果〕①しごと件数：五三九件、②情報提供企業件数：九社
- 〔問題点〕①「求人者名」に有料職業紹介事業者であるにもかかわらず自社名を掲載。
- ②「業務の内容」が具体的に欠ける(システム、ソフトの受託開発、「社内システム、ビジネスシステムに関する開発」など)。
- ③「詳細情報へのアクセス」

が単にその情報提供業者のトップページにリンクされている。

④仕事の詳細情報がないサイトがある。

⑤仕事の詳細情報はあるが直接リンクされていないため、しごと情報ネットで検索した仕事情報の詳細を探するのは困難なサイトがある。

以上のように単に自社(職業紹介)への登録をしてもらうことを目的としているケースも見られます。

新運転、福祉輸送の企業組合設立

新運転が少子高齢化が進むなかで、中高齢者の雇用創出をめざして準備をすすめてきた福祉輸送サービス企業組合「ロマソン交通」が昨年二月に関東運輸局の認可を得て設立されました。

新運転は、交通運輸にたずさわる労働組合としてこれまで四三年の歴史をもっています。これまで培ってきた技能をいかし、新たな分野で社会的役割を果たそうと奮闘しています。

障害者や高齢者などは日常生活の中で外出などにはどうして

●検索結果件数：539件

会社名	検索数	詳細情報	掲載分類
A社(※)	494件	あり(注)	B
B社	15件	あり	A
C社(※)	14件	あり	A
D社(※)	8件	なし	B
E社	2件	あり	B
F社(※)	2件	あり	B
G社(※)	2件	あり	C
H社	1件	あり	A
I社(※)	1件	なし	C

上記の※印社は情報提供に問題がある。

●掲載分類
A. 具体的な仕事情報を提供している
B. 見仕事情報(検索結果)を「しごと情報ネット」がそのリンク先で見られる「しごと情報ネット」にリンクされているが、詳細情報が提供されていない
C. 具体的な仕事情報の提供(登録など)を行っていない
(注) 上記の※印社は情報提供に問題がある。

も電車やバスよりもタクシーなどに頼らざるをえません。軽自動車での運賃は安く、救急時にも対応できる技術を身につけた運転手が利用者をドアからドアまで安全・快適に送り届けるという仕事は、まさに専門技能を持つ輸送関係に携わる労働組合の社会福祉への貢献といえることができます。

事業開始までには、一般乗用旅客自動車運送事業の営業免許を取得しなければなりません。が、待望の福祉タクシーは今春から走りだすことになりそう。